

本日は母の為に、本葬の導師を務めて頂いた本宮老師様、有難うございます。また、かくも多くの方々のお焼香を頂きありがとうございます。

母は、平成元年から平成十年、本日の導師を勤めて頂いた安養寺

住職本宮老師のお父様、及び本日ご随喜頂いた上田方丈様のお父様の絶大な支援により、私の替わりにこの寺を十年間しっかりと守り、その後は

悠々自適に旅行や絵画を楽しみ余生を過ごしてまいりました。

ここに来て、九十五歳で老衰という事で安らかに穏やかな顔で、

一月九日午前五時に亡くなりました。

母の最後の希望は、僧としてこの寺で葬儀をし、皆様とお別れすることです。

本日導師を務めて頂いた本宮老師様・ご随喜の御坊様・檀信徒の皆様・檀家総代の皆様に深く感謝しています。

母は、あの世から私や孫やひ孫の東陽寺での活躍をきつと見守っている事でしょう。

これを持って挨拶に替えさせていただきます。